

関口雄揮記念美術館 開館5周年記念展

新収蔵作品展

2010年7月3日(土)～8月29日(日)

関口雄揮の世界

9月4日(土)～10月31日(日)

休館日/月曜日(祝日の場合は翌火曜日) 8月30日(月)～9月3日(金)

開館時間/午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入場料/大人1000円 大学・専門学生800円 中高生600円

小学生300円 幼児無料

関口雄揮記念美術館

新収蔵作品展

7月3日~8月29日



《冬湖》 2008年

2008年7月に逝去した関口のもとには、古くは「雄揮」と名乗る以前のものから、死の間際まで筆を加え続けた遺作に至るまでの多くの作品が残されていた。当館では本年までに、それらを含む65点の作品を新たに購入。関口の画業をより詳細に跡づけ、その魅力を後世に伝えるべく、コレクションの充実をはかってきた。本展では未発表の遺作《冬湖》をはじめとする新収蔵作品を一堂に展示し、これまで見ることのできなかつた作品を通じて、関口芸術の魅力を再発見したい。

関口雄揮の世界

9月4日~10月31日



《彩》 1996年

当館が所蔵する130点以上におよぶ関口の作品は、大半が日展や日春展といった大規模な展覧会への出品作品で、いずれも関口の作品世界を雄弁に物語る代表作と言っても過言ではない。本展ではこれら代表作を網羅し、伝統的な技法と独自の視点から捉えられた自然美が織りなす、関口の世界を見つめ直す。

開館5周年記念 特別価格

「関口雄揮の世界」は通常料金の半額でご入場いただけます。

特別展示 写真で綴る、関口雄揮の歴史

戦地へと赴く若き日の肖像。正装で賞状を受け取る栄光の瞬間。異国の地でスケッチに打ち込む後ろ姿。自分だけの風景を求めた模索と挑戦の日々……時代に翻弄されながらも日本画の道を邁進した一人の画家の歴史が、写真とともに蘇る。当展では当館秘蔵の写真資料をもとに、波乱と苦悩の果てに独自の境地を拓くに至った関口の生涯を振り返る。

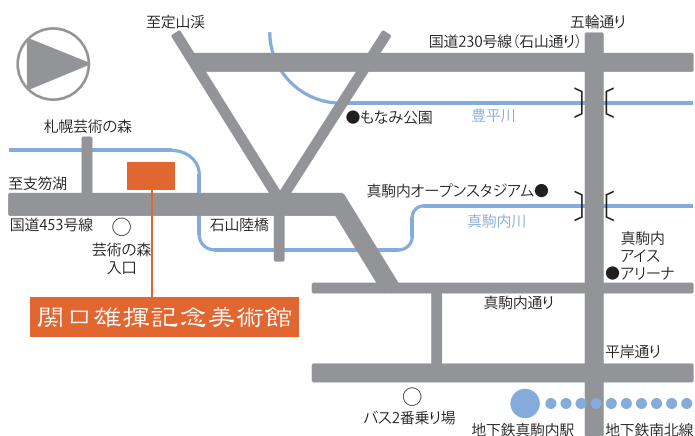
略歴

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1923年 埼玉県児玉郡猪俣に生まれる。 | 1979年 《白い枯野》で日展特選。 |
| 1942年 東京美術学校日本画科に入学。 | 1983年 《雪原》で日展特選。 |
| 1943年 戦況の悪化により学徒出陣。 | 1990年 日展会員 |
| 1948年 日展日本画部に初入選。 | 1998年 永観堂禅林寺に障壁画を奉納。 |
| 1954年 文部省給費留学生として渡仏。 | 2008年 逝去。享年85歳。 |



出陣前 弟と

周辺地図



交通

■地下鉄・バスをご利用のお客様

地下鉄南北線「真駒内」駅バス2番乗り場より中央バス乗車「芸術の森入口」下車（所要時間14分 約15分間隔で運行）真駒内方面に徒歩1分

■お車をご利用のお客様

札幌市街中心部より国道453号線を南下支笏湖方面に約40分

関口雄揮記念美術館

〒005-0853 札幌市南区常盤3条1丁目（芸術の森入口）
TEL 011-593-5050 URL <http://www.sekiguchi-muse.jp/>